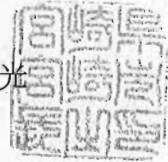




宮 土 第 174 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

宮崎市長 津 村 重 光



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標記については、別紙のとおりです。

文書取扱 建設部土木課

TEL 0985-21-1801

FAX 0985-26-3520

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○現状

- ・これまで、費用便益比（B／C）に重点をおいて事業採択を行ってきた結果、都市部と地方とでは道路整備水準に大きな格差が生じている。
- ・道路特定財源制度は、これまでわが国の道路整備に大きな役割を果たしてきたが、平成21年度から一般財源化することが閣議決定された。
- ・高度経済成長期を通じて社会資本の新設に力を注いできた結果、一定のストックが蓄積されたが、建設後の年数が経過するに従って老朽化の急速な進展や、雑草繁茂等による沿道修景の悪化など、維持管理の重要性がますます高まってきている。

○課題

- ・遅れている地方の道路整備を推進するためには、B／Cだけではなく、企業誘致・雇用誘発等の経済波及効果、CO₂削減効果、災害時の代替機能、救急医療への貢献度などを加味した新たな知見に基づく評価手法の確立が必要である。
- ・今後とも、必要な道路を整備するための財源を安定的に確保するとともに、道路整備の遅れている地方の実情を踏まえ、地方への重点配分を行うなど制度の充実を図る必要がある。
- ・厳しい財政状況の中、限られた予算の範囲でこれまでに蓄積された社会資本ストックを有効に活用していくためには、予防保全の考え方に立った計画的・効率的な維持管理への転換が求められており、そのための財源確保や制度創設、体制構築が必要である。

②—1 地域の現状と抱える課題

宮崎県 宮崎市

○現状

- ・本市を含む東九州地域は、各所に優れた産業や観光資源がありながら、高速交通体系の整備の遅れから、そのポテンシャルを十分に発揮できない状況である。一方、西九州地域においては、すでに高速道路により主要都市間が連絡されており、九州新幹線も部分開業するなど、さらなる高速交通網の整備が着々と進んでおり、九州東西における地域格差はますます拡大する傾向にある。
- ・本市は、宮崎県の県都として、また、南九州の中核都市として発展してきたところであり、空港、港湾、鉄道駅等の広域交通網へのアクセス環境は良好であるものの、公共交通機関が未発達であることから、域内の交通体系は大きく自動車に依存している状況である。
- ・本市は、平成18年1月に周辺3町と合併したところであり、市域の拡大とともに自然環境や歴史・文化、地域の産業といった新たな地域資源も加わり、人や地域のつながりも大きく広がったところである。
- ・本市は、集中豪雨や台風の常襲地域であるとともに、地震についても日向灘が特定観測地域の一つに指定されていることもあり、常に自然災害の脅威にさらされている地域である。

○課題

- ・宮崎県内の高規格幹線道路の供用率は約40%で、九州内では最も低く、全国平均の約66%と比べても大きく整備が遅れている状況である。
このため、九州東西の地域格差の是正を図るためにも、高速道路の早期整備は喫緊の課題となっている。
- ・本市の道路ネットワークは、拠点間を結ぶ放射状の幹線道路と、これらを補完する内・外環状線で構成されているが、整備の遅れから各所で交通渋滞が発生しており、その整備促進を図ることが大きな課題となっている。
- ・新市域の均衡ある発展と魅力あるまちづくりを進めるためには、合併した旧町を結ぶ道路網の整備促進を図ることが大きな課題となっている。
- ・市民が安全・安心な暮らしをおくるためには、災害に強い道路網の整備を図ることが大きな課題となっている。

②— 1 地域の現状と抱える課題

宮崎県 宮崎市

○現状

- ・本市は、九州一の景観都市を目指しており、その中で、道路は地域の景観を印象付ける重要な役割を担うことから、適切な維持管理や景観に配慮した整備が求められるが、一部には乖離したものも見受けられる状況である。
- ・無電柱化は景観施策の大きな柱の一つであり、本市では、コンパクトなまちづくりを推進するため、特に、中心市街地に重点をおいて整備に取り組んでいるところである。しかしながら、無電柱化には多額の事業費と関係機関の協力が必要であり、なかなか進まないのが現状である。

○課題

- ・適切な道路の維持管理や、道路と沿道景観が一体となった魅力ある沿道修景のため、植栽帯の草刈・除草の徹底と、街路樹や緑地帯のなお一層の創出が課題となっている。
- ・国におかれては、無電柱化を推進するため、コスト縮減と技術開発の推進にご尽力いただいているが、今後とも、電線管理者等の協力を得ながら、より安価で効率的な整備手法の確立が望まれる。また、コンパクトなまちづくりを推進するため、中心市街地での整備に対する予算の重点配分が課題と考える。

②—2 地域の目指すべき将来像

宮崎県 宮崎市

- ・本市は、平成20年3月に「第四次宮崎市総合計画」を策定したところであり、すべての市民がいきいきと暮らし、ともに支え合うやすらぎのあるまちづくりを行い、次の世代を担う子どもたちに引き継いでいくことを目指して、『活力と緑あふれる太陽都市…みやざき…～次世代につなぐまちづくり～』を目標とする都市像としている。
- ・当該計画においては、都市拠点等を結ぶネットワークの形成を図るため、主に道路系交通網をベースとした都市軸の形成を目指すこととしており、国道10号、国道220号、国道269号等の南北及び東西の都市軸、並びに九州縦貫自動車道宮崎線、東九州自動車道、及び一ツ葉有料道路等の広域的に主要都市間を結ぶ都市軸、さらにはそれらを補完して市内の各地域間の連携・交流を促進する都市軸の形成を目指している。
- ・この他、当該計画において、道路に関連する主要施策は次のとおりである。

個別目標	主要施策	施策の内容
財政が健全であるまち	不断の歳出削減	合併のスケールメリットによる人件費や物件費の削減を図るとともに、事業執行時の精査や公共事業のコスト縮減など、不断の経費節減に努める。
市域が均衡して発展しているまち	新市建設計画の着実な推進	均衡ある発展のため、また、最小の経費で最大の効果が上げられるように、新市建設計画の実施にあたっては、実施計画の的確な進捗管理を行い、着実な計画の推進を図る。
美しい景観が保たれているまち	美しく魅力ある景観づくりの推進	市民の景観への意識の向上を図りながら、市民・事業者・行政が相互に連携協働し、街並み・建築物・広告物等のルールをつくるなど、美しく魅力ある景観づくりを進める。
中心市街地の機能を享受しているまち	交通利便性の向上	立体駐車場や複合交通センターを整備して中心市街地へのアクセス性の向上を図るとともに、自転車駐車場の整備や歩道のバリアフリー化を行い歩行者・自転車の利便性向上を図る。
自由に移動できる交通網が整備されているまち	効率的・効果的な道路交通体系の整備	放射環状型幹線道路ネットワークの形成に向けて、費用対効果や優先度を判断して整備路線を絞り込み、計画的・効率的な道路整備に取り組む。

②—2 地域の目指すべき将来像

宮崎県 宮崎市

個別目標	主要施策	施策の内容
自由に移動できる交通網が整備されているまち	身近な生活道路の整備	歩行者や自転車、車両が安全に通行できるよう、狭あいな道路や線形が複雑な道路については、拡幅・改良を進める。また、交通混雑の解消や交通の利便性を図る道路の整備を進める。
生活環境におけるバリアフリーが整っているまち	交通のバリアフリー化	交通の安全性や利便性を高めるため、駅・バスターミナルなどの交通拠点や歩行者空間のバリアフリー化に取り組む。
交通安全意識が高く、安心して暮らしているまち	交通安全対策の推進	交通事故発生危険箇所等への歩道、ガードレール、カーブミラーの設置など、交通安全施設の整備を推進する。
流通・物流の機能が充実しているまち	流通ネットワーク基盤の整備促進	流通の根幹的な基盤となる東九州自動車道の整備促進や、宮崎港の物流機能の強化を関係機関に働きかけていく。

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

宮崎県 宮崎市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	・ 東九州自動車道の早期整備	・ 九州東西における地域格差の解消と、九州全域の一体的・飛躍的発展。 ・ 地域経済の活性化と、自立ある発展。 ・ 企業誘致、雇用誘発等の経済波及効果。 ・ 観光客増加による交流機会の拡大。	・ 新直轄事業を推進するため、安定的な財源確保が必要
・ 都市交通の快適性、利便性の向上	・ 国道２１９号広瀬バイパスの早期整備 ・ 国道１０号住吉道路の早期整備 ・ 主要地方道宮崎西環状線の早期整備	・ 移動時間の短縮と交通渋滞の緩和。 ・ 市内の各地域間の連携・交流の促進。 ・ 新市域の均衡ある発展と魅力あるまちづくりの推進。 ・ 市民が自由にまた容易に移動できる効率的で利便性の高い交通体系の確立。	
・ 水害等の災害に強い国土づくり	・ 国道２２０号小内海～富士間の早期整備 ・ 東九州自動車道西都～清武間の防災工事	・ 市民が安全で安心して暮らせる生活環境の創出。 ・ 災害に強い道路網の構築。	
・ 良好な景観の形成	・ 適切な道路の維持管理 ・ 景観に配慮した道路整備の推進 ・ 無電柱化の推進	・ 魅力ある沿道修景の創出。 ・ 美しく魅力ある道路や都市空間の創出。 ・ 安全で快適な歩行空間の確保。	